

# 廃棄物処理業務の基本的な考え方

この度は『常盤橋タワー』の廃棄物収集運搬処理業務に関するご提案を申し上げる機会を頂き、誠にありがとうございます。

弊社は1978年(昭和53年) 東京のゴミ問題に取り組むべく、ビルメンテナンス業7社が出資して設立された会社です。

弊社は、清掃工場搬入となるリサイクルできない可燃ごみ以外、『ほぼすべての廃棄物が“自社施設にてお取扱いが可能”です。』

また、すべての施設が23区内にございます。廃棄物を再資源化しリサイクル率を高めるとともに、CO2削減の寄与に努め、資源循環型社会の実現を目指します。

ここ数年で廃棄物に関する法令や行政の取締も厳しさを増し、一部の区では食品リサイクル率に関する条例が出来るなどしました。そうした中でお客様の法令遵守への意識の高まりとともに、法律と現実との間で板挟みになっていることもまた事実です。こういった現状に対して『お客様へく安心と信頼』を提供する』ことを弊社の使命・役割と認識し、“法令遵守”を徹底し、“適切なコスト・作業・処理”を行なうとともに、“さらなるサービス” をご提供致します。

貴施設の効率性を最大限に発揮する為のサポート要員として本業務に参画できれば幸いです。

①リサイクルセンター：足立区入谷7-12-12

平成18年3月稼働。ビン・缶・廃プラスチック等の産業廃棄物の中間処理施設。独自の取り組みとして障害者の雇用も進めております。

②リサイクルヤード：足立区入谷7-12-22

平成9年5月稼働。紙全般の中間処理施設。月間3,000tの処理が可能。

③株式会社アルフォ：大田区城南島3-3-2(子会社)

平成16年4月稼働。食品廃棄物の飼料化施設。平成29年6月には、第2工場が稼働。

企業理念

『資源循環型リサイクル社会実現の一翼を担う企業として、その使命と役割を認識し、また、人と街と環境のハーモニーを追求した「自然」にやさしい廃棄物の一貫処理システムをもって地域社会に貢献し、将来にわたり発展を続けていくこと』

○地域貢献の一環として事務所周辺の清掃活動を行っております。



## 管理・連絡体制について

### 1. 組織体系および連絡体制

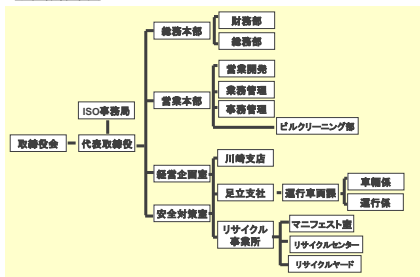
弊社の組織体系図は、下図の通りです。

受託決定後より、右図の【連絡体制】にて、ご対応させていただきます。

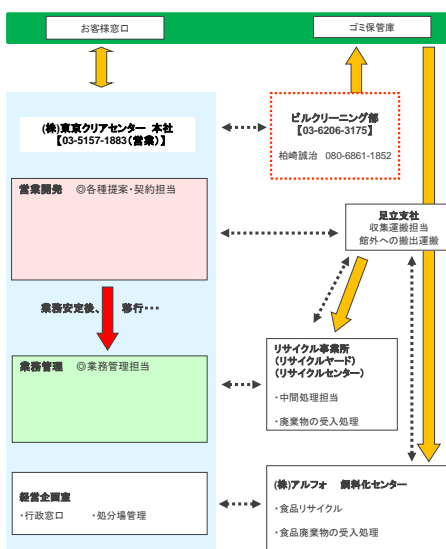
施設稼働後、一定期間は各種提案および契約担当である【営業開発】の担当者が窓口となり、ご対応させていただきます。【業務管理】と共同のサポートを致します。業務が安定してからは、業務管理担当である【業務管理】に窓口を移行し、支社・事業所等と共に日常管理業務を行います。

また、緊急時の連絡体制につきましては貴施設の館内体制に則した連絡網を事前に用意提出させていただきます。

#### ◎組織体系図



#### ◎連絡体制





## 教育について

### 1. 常駐業務の管理体制

弊社では長年に渡り、オフィスビルや複合施設、商業施設で常駐業務を行っております。

培った経験を基に、お客様に満足いただけるよう【廃棄物処理業務作業標準書】に基づいて運用を行っております。

貴施設に相応しい業務内容で「安心・安全・快適」な環境の創設・維持をご対応させていただきます。

#### ① 安定した人員体制

【常に余裕を持った人員でマネジメント】

ビルクリーニング部の役職者が巡回要員及び代行勤務要員としてマネジメント。

新規物件立上げ時には、他部門の人員も、緊急時に交代で勤務できるよう、研修を行っております。

【ビル毎にマニュアルを作成】

入館方法や粗大ごみ対応等のビル毎に異なるルールについてはマニュアルを作成、細かい齟齬も生じさせないよう対応しております。

#### ② 育成及び異動について

現場責任者については固定での勤務を予定しており、後任については貴社承認の上で配属させていただきます。

また、配置については教育カリキュラムに基づき研修テキスト等を用いた社内教育及び現場でのOJTを行い、勤務が適切と判断された場合のみ現場配置を行います。

#### ③ インспекション

作業標準書を元に、物件には【点検表・・・①】を設置しビルクリーニング部役付き者が最低月1回以上点検を行います。

作業員は日々の記録を点検表に記録し、巡回者はチェック表をもとに場内や容器の状態などを確認・指導を行います。行った指導の内容は【報告書・・・②】として記録し、営業担当者等の関係者に回覧が行われ情報共有されます。

#### ①点検表(現場作業員用)

※点検時に、点検作業員にのみ記入する。手書きで作成してからチェックを記入する。

項目	点検項目	点検結果	点検者	点検日
点検項目	1. 点検項目			
	2. 点検項目			
	3. 点検項目			
	4. 点検項目			
	5. 点検項目			
	6. 点検項目			
	7. 点検項目			
	8. 点検項目			
	9. 点検項目			
	10. 点検項目			

【点検表に記入しては必ず報告書を作成して提出して下さい】

#### ②報告書

項目	点検項目	点検結果	点検者	点検日
点検項目	1. 点検項目			
	2. 点検項目			
	3. 点検項目			
	4. 点検項目			
	5. 点検項目			
	6. 点検項目			
	7. 点検項目			
	8. 点検項目			
	9. 点検項目			
	10. 点検項目			

【点検表に記入しては必ず報告書を作成して提出して下さい】

#### 常駐業務向け研修風景



クレームや好事例、作業方法等の情報や問題点など講師から説明すると共に、各現場の勤務者が互いに情報を出し合い、共有を行います。【年1回 全員参加】

6

## 教育について

### 2. 各種教育について

弊社では【営業】・【収集】・【中間処理】・【常駐】の各従事者及び各責任者を対象に、役職に合った専門教育・安全教育を実施しています。また、収集車両には車内・車外「カメラ」を装着し、安全作業、安全運転、車両事故の原因究明・再発防止に役立てております。

#### 専門教育

	研修名	研修対象者	研修担当者
社内研修	新入社員研修	新入社員	総務部役付者
	職場異動社員研修	人事異動対象従業員	総務部・各部門役付者
	検査員研修	リサイクル事業所作業員	検査責任者1級者
	ISO教育	足立支社全従業員	ISO事務局
社外教育	安全研修	全従業員	ISO事務局
	内部監査院研修	内部監査員候補者	外部機関
	部門別専門教育	全従業員	外部機関
	職階層別教育	各役付者及び候補者	外部機関

【足立支社・事業所】

- 安全衛生委員会
- KYTヒヤリマップ
- KYT自主勉強会(ビデオ研修)
- 安全適正検査及びフォロー研修
- 警察署による安全運転講習(綾瀬警察署または竹ノ塚警察署)
- 地域への感謝奉仕活動
- 事故・災害発生時の緊急安全ミーティング(類似災害防止、危険意識高揚)

【本社営業職等】

- 関連法令の専門の講師を招聘してのセミナー
- 外部セミナーの参加と社内にてプレゼン形式での展開

### 3. お客様への情報発信

お客様に向けて、法改正が行なわれる際等にセミナーを不定期で実施しております。直近では、平成28年6月15日に開催し、廃棄物処理の現状と法改正の動向について、現職の東京環境局職員および廃掃法に詳しい弁護士に講義いただきました。

#### 外部講師を招聘した全役職者向けセミナー



#### 警察署による安全運転講習



7

## コンプライアンス・地域貢献他

### コンプライアンス体制

弊社では業界でもいち早く国際規格であるISO導入を始め、9000シリーズについては今年で20年間維持継続をしております。

平成12年12月：品質マネジメントシステム「ISO9001」の認証取得

平成17年1月：環境マネジメントシステム「ISO14001」の認証取得

平成21年10月：情報セキュリティマネジメントシステム「ISO27001」の認証取得

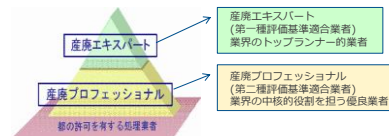
平成24年12月：エコアクション21の認証登録（㈱アルフォにて取得）



優良事業者認定制度は環境省主導で法制化された制度で、弊社では東京都・神奈川県・千葉県で認定を受けており各情報をインターネットホームページにて公表しております。是非、環境省及び都道府県推奨の優良事業者の認定を受けているかについてもご確認いただければと存じます。（優良事業者認定制度は各都道府県知事が認定し、下段の東京都の第三者評価者制度は外郭団体が事務代行と認定をしています。）

#### 優良事業者認定基準

- 1 企業の遵法性・・・継続して5年営業し、かつ行政処分を受けていない
- 2 事業の透明性・・・インターネットで許可の取得状況、施設の運営状況を公表
- 3 環境配慮の取組み・・・ISO14001やエコアクションの取得
- 4 電子マニフェストの対応
- 5 財務体質の健全性・・・通常の産廃業者と比較して健全な経営状態。  
（※インターネットで財務状況の公開を行なう）



平成22年2月：東京都産廃エキスパートに認定（継続更新）

本制度は産業廃棄物処理業者の優良な業者を評価・認定する制度で、東京都が全国で初めて創設した、産業廃棄物処理業者の第三者評価制度です。産業廃棄物処理業者の任意の申請に基づき、適正処理、資源化及び環境に与える負荷の少ない取組を行っている優良な業者を、第三者評価機関として都が指定した公益財団法人東京都環境公社が評価・認定する制度です。  
弊社は収集運搬と中間処分、子会社㈱アルフォは中間処分で認定されました。

8

## コンプライアンス・地域貢献他

### 地域密着企業としての役割

#### 【地域奉仕活動】

弊社は工場の周辺（入谷地区）において、清掃活動を主な貢献事業として行っております。また、近隣の交通誘導も実施し、地域住民との交流も深めております。

#### 【見学会対応】

子会社(株)アルフォでは国内の要人・海外からは各国政府や環境に関する専門機関から小学生の社会科見学に至るまで、排出事業者のみならず一般の方向けにも見学会の対応を行っております。

環境問題から食品廃棄物が飼料へ生まれ変わるまでの工程について、映像や資料を交えてご案内し、大変ご好評いただいております。  
ご来場いただいた見学者は11年間で、約1万5,000人となりました。

#### 【セミナー講師】

各行政機関や企業・市民団体からの依頼により、廃棄物や環境問題に関する講演会で講師を務めさせていただいており、環境問題への啓発活動を行っております。

#### ◎入谷地区における清掃活動の様子



#### ◎食品リサイクルセミナー



#### ◎飼料化センター見学会対応の様子



9

## コンプライアンス・地域貢献他

### 地域貢献 環境学習へのご協力 食品リサイクルをめぐる旅 見学バスツアー

地域貢献の一環として、近隣住民の方や施設ご利用者様を対象とした見学会をご提案致します。弊社では日頃より見学会対応をしており、見学者数は過去11年間で【延べ1万5,000人】になります。国内の要人を始め、海外の国政府や環境に関する専門機関から小学生の社会科見学に至るまで幅広い方々がお越しになります。ご好評いただいております見学会を本提案では、貴施設の食品リサイクルをめぐる旅と題し、環境問題も交えながらご案内致します。

#### ◎見学会の流れ



10

## 食品リサイクルについて

### 飼料化処理及びバイオガス発電

貴施設から発生した食品生ゴミは弊社が出資を行っている「(株)アルフォ城南島飼料化センター」へ搬入して飼料原料化及びバイオガス発電を行います。

城南島飼料化センターは鶏豚のエサを作る施設ですので他の食品リサイクル施設と比較すると分別基準が厳しい施設ではありますが、弊社と(株)アルフォの関係性を生かし建物内での飲食テナントへの分別指導及び城南島飼料化センターでの展開検査と分別を行う事で施設からの搬入量100%を目指します。

但し、食材の性質上（例：出汁パック）生ごみと異物の分別が困難な廃棄品が多い場合には城南島飼料化センターでの処理が困難となるため、隣接するバイオエナジー株式会社への搬入切り替えをご提案させていただきます。

(株)アルフォ 処理単価 33円/kg ⇒ 鶏豚のエサ  
(株)バイオエナジー 処理単価 49円/kg ⇒ 発電・都市ガス

#### ◎施設の概要



### 【(株)アルフォ 施設の特徴・背景】

- 本事業は東京都が進めている「東京スーパーエコタウン事業」です。
- 日本で3社しか導入していない油温減圧乾燥方式（通称：天ぷら方式）を採用。これにより、食堂や飲食店舗から排出される食品はすべてリサイクル可能！
- 国の施策でもある「国内飼料自給率の向上」に寄与。製造される配合飼料原料は循環型なリサイクル利用が可能。
- 平成24年度 循環型社会形成推進功労者等環境大臣表彰
- 平成24年12月 『エコアクション2.1』認定登録

施設内の飲食店や食堂などで、アルフォミールが配合された飼料を食べ育て育った鶏卵や豚肉を使った料理を提供する事で、リサイクルループを構築することが可能です。

### CHECK! リサイクルループ



13

東京産業資源循環協会 収集運搬委員会 取組み発表シート

貴社情報	
会社名	
記入日	
委員会会員名	
入力担当者様指名	
電話番号	
メールアドレス	

御社の実際に行なっている取組みを教えてください

※必ず3つ答えてください

事故防止に対する取り組み事例	
事例	だれが/だれに/いつ/どのように/その結果/どうする
① ミーティング時に 映像を共有する	毎月行われるミーティング時にドライバー全員に対して、事故・クレーム・ヒヤリハット等のデジタコから抽出した映像を見せて、同様の事象を起こさないよう注意喚起をする。
② 管理者による同乗 運転指導	過去に事故を起こしたドライバーやクレームを起こしたドライバーに対し管理者が助手席に乗り指導を行う。
③ 外部機関による教育の 実施	外部機関がドライバー全員に対して、毎月「過去の事例・事故分析等」を基に教育を実施。また、各ドライバーに対してそれぞれの回収現場でのヒヤリハットを「ドライバーコメント」として書き込み掲示して他のドライバーと情報を共有する。
④ セーフティラリーの 実施	1年を4か月間3回に分け、ドライバー5～6人を1チームとし「事故の発生・違反の発生等」が無かったチームに対し表彰を行い、ドライバーの事故を発生させない、違反をしない等のやる気を向上させている。

※必ず1つ答えてください

社会的地位向上に対する取り組み事例	
事例	だれが/だれに/いつ/どのように/その結果/どうする
①	
②	
③	

※必ず1つ答えてください

先進的、実験的、わが社の取り組み事例	
事例	だれが/だれに/いつ/どのように/その結果/どうする
①	
②	
③	